



わたしじつは消防吏員



直径9メートルの円形マット上で学んだこと

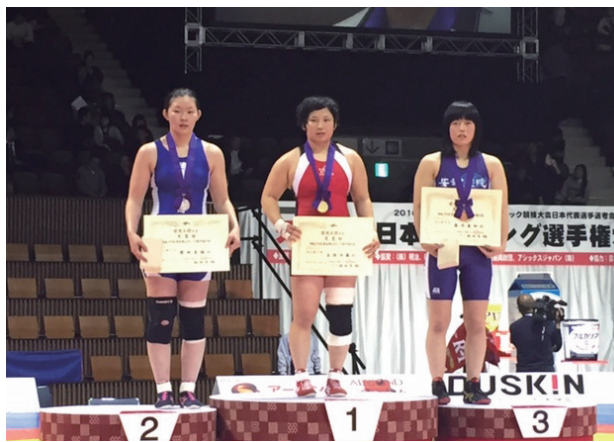
埼玉県
埼玉西部消防局
歌田 圭純

新人救急隊員です

私は、「レスリングを活かせる仕事をしたい」との思いから消防士になり、今年で入署4年目となります。今年度からは、救急隊員として業務に取り組んでいます。日々、怪我や病気の方と接する仕事の中で改めて人命の尊さを感じ、先輩救命士さんに指導を仰ぎながら、早く一人前の救急隊員になれるよう努力しています。



傷病者の立場に立っての活動を心掛けています。



2015年天皇杯準優勝

金メダリストと戦いましたが惜しくも…

私は、3歳からレスリングを始め、学生時代はレスリングに熱中し、現在も休みの日は母校の東洋大学に足を運び、男子大学生を相手にトレーニングをしています。2015年に開催した全日本女子オープンレスリング選手権大会では、社会人になって初めて優勝することができ、その後に出場した天皇杯では、リオ五輪金メダリスト土性選手と決勝を戦い惜しくも敗退しましたが、準優勝の結果に自信ができました。

駆け引きと先を読む力

レスリングを仕事とする道考えたこともありましたが、今は、消防士とレスリングとの両立の道を選んだことに後悔はありません。レスリングは駆け引きの競技であり、相手を自分の有利な体勢に動かすために自分がどう動けば良いかを考え、常に先読みすることが大切です。レスリングで学んだ先を読む力を今後の現場活動につなげていければと思います。



1対1で組み合う緊張感